



2025年1月14日

各位

会社名：ユーピーアール株式会社
代表者名：代表取締役
社長執行役員 酒田 義矢
(コード番号：7065 東証スタンダード市場)
問い合わせ先：経営企画部長 尾口 順一
TEL：03-3593-1728

2026年8月期から配当政策の変更（DOE指標導入）及び 配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下の通り配当政策の変更及び期末の配当予想を修正することについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当政策の変更について

(1) 変更の理由

当社は、2024年10月15日に公表した2024年8月期決算短信のとおり、株主の皆様への利益還元の一層の充実を図り、あわせて資本効率の向上を図ることを目的としてDOE（自己資本配当率）（※）の導入を検討してまいりましたが、この度、現中期経営計画（中期経営計画2025（ver.2））終了後の2026年8月期からDOE指標を導入することを決議いたしました。

当社はこれまでレンタルパレットの購入など活発な投資を行う成長期においては、連結配当性向の10%を目処とし、将来的に安定期に移行した時点で連結配当性向30%を目指し、減配を行わないことを原則としておりました。当社を取り巻く環境は、物流の2024年問題によるトラックドライバーの荷待ち・荷役時間削減に効果的なレンタル方式によるパレット輸送の需要が今後も見込まれております。そんな中、当社は毎年一定額のレンタルパレットの購入など主にパレットレンタル事業に係る設備投資を継続することを成長の原動力としております。従いまして、今回の変更にあたりましても、当面の成長期でのDOEの目処と安定期に移行した時点でのDOEの目標値を設定しております。

連結配当性向指標で短期的な業績の変動による影響を抑制するために減配を行わないことを原則としておりましたが、利益還元の一層の充実と配当の安定性を高める目的でDOE指標を導入いたします。

※DOE（自己資本配当率）＝年間配当総額÷自己資本の平均

(2) 変更の内容

変更前	変更後
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策の一つと認識しております。日常の事業運営に必要な運転資金と将来の事業展開のための内部留保を確保し、健全な財務体質を維持しつつ、当面は連結配当性向10%を目処とし、将来的には連結配当性向30%を目標とするとともに、減配を行わないことを原則としております。	当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策の一つと認識しております。日常の事業運営に必要な運転資金と将来の事業展開のための内部留保を確保し、健全な財務体質を維持しつつ、 <u>当面はDOE（自己資本配当率）3%を目処とし、将来的にはDOE 5%を目標とすることを原則としております。</u>

(3) 変更の時期

2026年8月期から適用します。

2. 配当予想の修正（増配）について

上記のとおり、2026年8月期からの配当方針の変更を踏まえ、2025年8月期につきましても、株主の皆様への利益還元の充実を段階的に前倒して実現すべく、期末配当予想を1株当たり16円から、1株当たり9円増配の25円に修正いたします。年間配当金も同じく1株当たり25円となる予定です。

なお、配当金額の正式な決定につきましては、2025年10月に開催予定の取締役会において行う予定です。

(ご参考) 年間配当の内訳 (現中期経営計画期間)

	2023年8月期 (実績)	2024年8月期 (実績)	2025年8月期 (当初予想)	2025年8月期 (修正後予想)
1株当たり配当金	14円	15円	16円	25円
連結配当性向 (%)	14.4	19.2	15.7	24.6
DOE (%)	1.3	1.3	1.3	2.1

以上